

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生

数学

2017年5月 1学期中間考査

74 / 100点

得点率

74%

大問別得点 1 24/24 2 15/18 3 12/18 4 9/12 5 6/12 6 8/16

全体所見

今回の数学（1学期中間考査）は74/100点でした。計算問題だけで構成された大問1は24/24点の満点。正負の数から因数分解、平方根、連立方程式まで、8問すべてを取りこぼしなく処理できています。計算力そのものは今回いちばんの強みです。一方、後半に進むにつれて得点率が下がり、関数の大問5が6/12点、証明と式で表す大問6が8/16点となりました。注目したいのは、誤答の多くが計算ミスではないことです。途中まで正しく進めながら、答えの形に整えきる手前で止まっている解答が目立ちました。

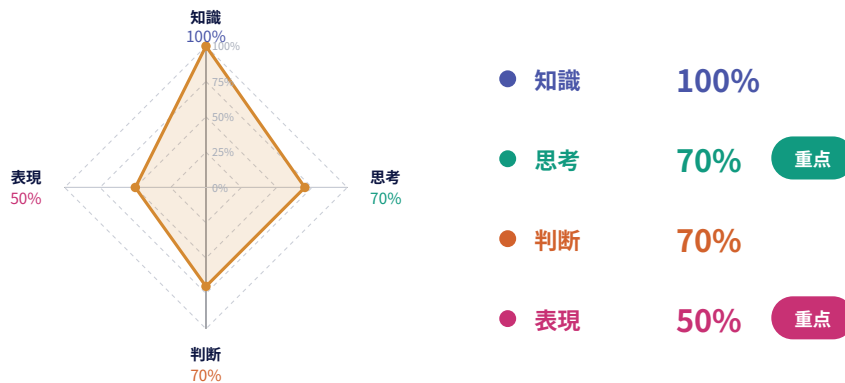
答案から見た傾向

- 01 大問1の計算8問は全問正解（24/24点）。展開・因数分解・平方根・連立方程式のいずれも、途中の処理が正確です。計算の土台は完成しています。
- 02 大問5(1)の変化の割合を求める設問で、 $a(1+3)$ と書いたところで止まっていました。あと一手 $4a$ まで進めれば正解でしたが、途中式のまま提出されています。
- 03 大問3(2)②では、階級値を問われているのに「20～30分」と階級そのものを答えていました。設問が何を聞いているかの読み取りで、答えの単位がずれています。

明神 太郎 さん 2017年5月 1学期中間考査（数学）

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



観点別アドバイス

表現 今回の重点

証明と、文字式で長さや面積を表す設問（大問6）で8/16点でした。証明は途中まで筋道を立てて書けていますが、結論へつなぐ根拠が最後まで並びきっていません。証明は「仮定→根拠→結論」の三段を毎回そろえる型で練習します。式で表す設問も、途中の形で止めずに整理しきるところまでを1セットにします。

思考 今回の重点

関数の大問4は9/12点、大問5は6/12点。方針は正しく立てられており、座標や式を求める過程も途中までは合っています。大問5(1)では $a(1+3)$ と書いたところで手が止まっていました。あと一手 $4a$ まで進めれば得点でしたので、「これ以上簡単にできないか」を最後に一度問う習慣が効きます。

学習アドバイス

全体として74点。計算だけを問う大問1が24/24の満点で、「知識」は100%です。処理の正確さという意味では、まったく不安がありません。一方、自分で方針を立てる「思考」「判断」が70%、証明や式で表す「表現」が50%。答えの出し方が決まっている問題から、自分で組み立てて書き切る問題へ移るほど、得点率が下がっています。計算力は完成しているので、次に伸ばすべきは「解ききる・書ききる」ところです。

太郎さんへ

計算問題は8問すべて正解、満点でした。関数も証明も、方針は正しく立てられています。あとは、始めた計算を最後の一手まで進めるだけ。惜しい解答が多かったぶん、伸びしろがはっきり見えています。